



芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>

令和元年5月20日に「炭鉄港」が日本遺産に認定されました。芦別市からは旧三井芦別鉄道炭山川橋梁（写真）、星槎大学（旧頼城小学校）校舎と体育館が「構成文化財」に認定されています。



日本遺産「炭鉄港」

構成文化財

旧三井芦別鉄道炭山川橋梁

- 規模・構造：橋 長 L=94m、川床からの高さ H=32m
橋梁構造～鋼板桁上路6連（緩やかな曲線を描く）
鉄 橋 ～鉄筋コンクリート造内柱5本及び2連アーチ橋
- 竣工年月：1945（昭和20年）年12月
- 沿革：1940（昭和15年）年
三井炭山が芦別駅～西芦別駅間L=4.1kmを結ぶ
三井芦別炭山の石炭運搬専用鉄道敷設した。
1944（昭和19年）年に軍需省から石炭増産要請を受けた
三井炭山は、第2坑（頼城）緊急開発の一環として、
同年中に線路の延長工事に着手した。
工事の下請業者は、日本人や朝鮮人の労働者を使役し
難工事にあたったが、炭山川と芦別川の二つの橋梁が完成し、
芦別駅～頼城駅間L=9.1kmが開通したのは、
終戦後の1945（昭和20年）年12月であった。
1960（昭和35年）年には三井芦別鉄道が独立、
1989（平成元年）年3月に廃線となるまで、
延べ360万トン以上の石炭を運搬したという。
- 文化財：平成21年1月に国の登録有形文化財に登録され、
令和元年5月には、文化庁の日本遺産「炭鉄港」の
構成文化財の一つに認定された。
（※橋上のディーゼル機関車と石炭貨車セキ3820は文化財ではない。）
- 管理者：芦別市役所経済建設部商工観光課 電話代表0124-22-2111



議長 動 静

芦別市議会議長 田森 良隆

9月12日から30日まで、第5回市議会定例会が開催されました。9月議会は平成30年度決算の審査特別委員会を含むため、決算議会とも言われています。

決算議会では、平成30年度の歳入、歳出の決算認定などの議案が提案され審議がなされましたが、決算の内容について一言で述べるならば、財政的には大変厳しいものとなっております。一般会計においては、収入総額に占める市税等の自主財源の比率が前年度と比較して下回っており、財政構造は依然として厳しい状況が続いています。

このような厳しい地域経済情勢や人口減少の影響により収入の減少が見込まれる中、市は行財政改革を進め、支出をおさえるため市独自事業等を削減する一方、収入増を図るための改革を合わせて進めております。

市が進める行財政改革の動きに対して、我々議会は、市民の皆様の負託に応えるために、その使命と責任を強く自覚し、討論の広場と呼ばれる議会の場において徹底的に議論を尽くし、監視機能を行使用することをもち、市民福祉の向上と市政の発展に寄与すべく努力を積み重ねていく覚悟であります。

11月に入り、朝晩は寒い日が続くようになり、雪の季節も近づいて来ます。市民の皆様におかれましては、季節の変わり目、くれぐれも風邪などひかないようお気をつけてお過ごしください。

主な内容

◎ 9月定例会一般質問……………	2～6
◎ 9月定例会の議決結果……………	7
◎ 社会産業常任委員会所管事務調査……………	8

9月定例会一般質問



無所属
若松 市政 議員

9月定例会市議会では、一般質問が行われ、10名が立ちました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

合宿の里事業について

質問

本市の知名度・イメージアップを上げる絶好の機会だったにもかかわらず、今年のラグビーワールドカップのほか、来年行われる東京オリンピック・パラリンピックの合宿候補地に芦別が選ばれなかった理由はなぜか伺う。

答弁

ラグビーワールドカップは大会組織委員会から示された宿泊施設等の必須条件のクリアが困難であり、東京オリンピック・パラリンピックについてはオリパラ参加国を招くホストタウン構想の継続が困難なため見送りました。温泉を利用した健康増進施策について

質問

芦別温泉の体育館・筋力トレーニング場・プール等

を使用した健康づくりをするため、温泉入浴施設として整備し、温泉利用の資格を持ったスタッフが市立芦別病院の医師と連携しながら、入浴指導・生活指導等を行い温泉利用型健康増進施設として利用できないか市長の考えを伺う。

答弁

一定の設備要件と厚生労働省所轄の財団法人が認定する温泉利用指導者の常勤配置、運営経費増加及び有資格者の確保困難のため断念した経過もあるが、指定管理者が認定取得の取り組みを行う場合は市立芦別病院との連携を改めて協議したいと思えます。

道の駅トイレ及び市役所庁舎横から市立芦別病院までの道路について

質問

現在ある道の駅トイレは和式で高齢者にとって使用が難しいため、洋式に改良する必要がある。また冬期間、市役所庁舎横から市立芦別病院までの歩道が雪で危険を含めたあらゆる点から市民に不便が生じているため除排雪ができないか伺う。

答弁

洋式トイレの普及に加え、バリアフリー対策等が求められている中、補助金の活用で検討を進め、緑地等管理中央センター内の1、2階のトイレは一般会計補正予算として計上させています。市役所庁舎横から市立芦別病院までの道路については平成29年4月から道路芦別砂川線となっています。市は道に対し歩道確保要望を行っているが、技術的に困難なため道路通行の危険性の周知と合わせて付近の市道を通行してもらおうよう考えています。



日本共産党
松井 邦男 議員

老朽化している住宅や店舗の除却支援策を

質問

市外転出に伴い放置されている空き家や老朽化した住宅や店舗を除却したいが、多額の

費用がかかるため放置され、やがて危険家屋となる。赤平市では老朽住宅の除却支援をしているが、芦別市での住宅改修事業の対象拡充について伺う。

答弁

28年度では空き家は753件で、危険家屋は66件。解体除却支援は「対策協議会」の議論を踏まえ、国や道の補助制度と市財政の状況を勘案して検討してまいります。

いじめと学校ストレスについて

質問

小中学校で認知した、いじめは年々増加している。伸び伸び育ち、楽しいふれあいの居場所の学校でいじめが起っている。いじめアンケートは、まわりを気にしなくてすむ家庭での記入を。学ぶ教科が増えるなどの学校ストレスがあるのではないか、改善を伺う。

私の調査によれば、今年4月からいじめを受けたことがある小中学校の児童生徒が87名おりました。

答弁

年2回の「いじめ把握」の調査では、小中学校とも

増えていますが、調査後に児童生徒から聞き取り、様子や態度の変化などを把握し対応しています。いじめの早期発見、対応のため学校での実施を続けます。詰め込み授業からの改善や学校生活がストレスとならないよう見守りや会話に努めています。※教職員の負担軽減の働き方改善についても質問しました。



市民連合議員団
小川 政憲 議員

質問 道立北の森づくり専門学院の開学に向けたソフト、ハード面における本市の役割と優位性について伺う。

答弁 これまで北海道から示されたカリキュラム案において、本市が本校となる林産試験場（旭川）から近く、宿泊施設として宿泊交流センターが利用できることや旧常磐小校舎とグラウンドの活用に加え、実習フィールドとなる市有林の状態も良好で、移動面においても好条件であり、林業機械の操作実習を中心に1、2年生を含め年間50日

程度の実習が計画されています。旧常磐小が北の森カレッジの分校として位置付けられるよう要望を続けてまいります。

質問 三段滝公園のトイレを閉鎖する考えについて伺う。

答弁 このトイレは年6か月間で約7万5千人であり、清掃や手洗いの水運搬、汲み取り料等維持管理費は約150万円となっております。電気や水の供給がなく水洗化や換気設備の対応ができないことを理解いただけない利用者からは、毎年苦情が寄せられています。利用者は、富良野方面へ往來する観光客が大半であるにも関わらず、本市の印象が悪くなるばかりであり、この状況を改善するため、国や道と水洗化の整備に向けた協議を進めているが改善が図られる見通しが立たない場合には、今年度を持って閉鎖することも視野に入れています。

質問 本市が三段滝公園を「第一の道の駅」として整備する考えについて伺う。

答弁 道の駅（市が実施主体）として整備する場合は一定の協力が可能と回答されているが、市の負担が過大となることから、駐

車場とトイレの整備について、国、道と協議をしているところであり、道の駅としての整備は断念しました。



政 風 会
北村 真 議員

SDGsの推進に向けた取り組みについて

質問 教育現場でのSDGsの導入の現状について伺う。

答弁 市内小中学校ではSDGsという言葉を聞いた授業展開は実施されておりませんが、小中学校の学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒が持続可能な社会の創り手となることができるように指導することが求められていることから、様々な場面においてSDGsの考え方や活動を意識づける取り組みが必要と考えております。このため、教職員にSDGsの理解を深めてもらうことにも、児童生徒に対する意識付けに関しても各学校での取り組みを促してまいりたいと考えております。

行財政改革での官民連携について

質問 現在計画されている公共施設の管理委託の検討状況について伺う。

答弁 先進地視察を実施するなどの事前調査のほか、委託化に適している業務の洗い出しや費用積算等を行っている段階であります。今年度中に検討をおこない令和2年度から段階的に実施することとしております。現在のところ、百年記念館については令和2年度から実施、図書館と勤労者体育センター及びなまこ山総合運動公園は令和3年度から実施、市民会館・青年センターは令和4年度から実施するとして検討を進めております。

再質問 来年度より百年記念館の委託を行うとのことですが相手先は決定しているのか伺う。

答弁 観光協会をベースに想定をしているところでありませぬ。

要望 観光協会に委託するのであれば道の駅との一体的な運用が期待される一方で更なる負担の増加が懸念され、観光協会自体の運営に不安が残ります。今後も行財政改革の一環としての業務委託の一層の推進を進めていただきたいと思います。



新星クラブ
石川 洋一 議員

交通安全対策事業について

質問

交通指導員の高齢化による今後の対応について伺う。

答弁

現状は、交通指導員の任期満了2か月前に、本人の健康状態や意思を尊重したうえで委嘱をしていますが、高齢化対策を含め今後どのような対応をはかるべきか、他市の状況などを参考に検討してまいります。

また、長年勤務している交通指導員に定期的に被服等は貸与されているかについては、同一人が使用する場合は4年となっていますが、被服の状態に応じて貸与期間を延長しています。続いて他市との報酬比較では、本市は一日出勤2千円に対し、滝川市・赤平市では年額1万2千円、歌志内市では2万6千円を支給しています。

在宅福祉サービス事業について

質問

ハイヤー券交付事業について伺う。

答弁

本市を含めた6市が初乗り運賃を助成しています。が、身体上の都合から一年に一度しか外出することができない方など、現在のハイヤー券交付事業が十分に活用されていないことを考慮し、見直しについて検討してまいります。

質問

緊急通報システムの電池交換について伺う。

答弁

通報装置本体に内蔵されている電池パックの交換費用について、平成29年度以降は、交換費用約二万円を利用者において負担してもらうことを文書にて通知しています。今後の市の対応としては、赤平市においては民間業者が提供するサービスを活用して携帯電話のよりに持ち歩く通報システムに変更されていることから、他市の事例を参考に検討してまいります。



新星クラブ
大橋 二郎 議員

防災計画について

質問

現計画は平成28年の改正だが、近年の想定を超えた災害に備え、見直す考えはあるか伺う。

答弁

気象庁が警報及び注意報の発表基準となる雨量指数や、避難勧告・指示における災害の判断基準を改正したことを受け、地域防災計画・同資料編等の改正を本年度中に終える予定です。

提案

- ①若年層も参加できる工夫
- ②多くの部署の市職員を配置③消防団による模擬安否確認訓練
- ④広報車による模擬広報訓練

答弁

①企業等に協力を願う若年層参加拡大に務めます。②担当する班だけでなく、多くの部署の職員が参加できる仕組みを検討してまいります。③安否確認の訓練は有効かつ重要であり、実施に向け検討してまいります。④現状、広報車による訓練をしておりますが、昨年の災害時に聞えづらいなどの課題があったことから今後の訓練に取り組むよう検討してまいります。

質問

今後増えていく高齢者の雇用問題を、行政としてどう認識しているか伺う。

答弁

少子高齢化や過疎化の進展により、生産年齢人口が減少を続けていることは、地域経済の持続性を脅かしかねない事態と認識しています。

高齢者の雇用問題について多様な働き方について

質問

シルバー人材センター事業について伺う。

答弁

この事業は、高齢化の進展や労働力不足などの解決の手法として認識しておりますので、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。



公明党
松尾 達矢 議員

市民通報システムについて

質問

市民からの情報や通報の発信、特に道路や公園の不具合などをSNSやLINEで発信できないか伺う。

答弁

新たに取り組む場合の人的対応や費用など派生する課題など、ご提言として受け止めさ

せていただき、今後は改めて「市役所への電子メール」などの媒体機能強化に努めたいと考えております。

一億総活躍社会について

質問

特に高齢者の就労について、人材バンクを一般の商業者へも拡大し、自治体を窓口とするマッチングシステムを構築できないか伺う。

答弁

職業安定法に基づく職業紹介所として厚生労働省への手続きが必要となることから、これらの整理を行い、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

市立芦別病院について

質問

①今年度は一般財源の基準外繰入額を前年の約3分1の1億円を目標に進んでおり、9月で半年を迎えますが、現在の経営状況を伺う。②将来的な経営統合を見据え、中空知地域で自治体病院連絡協議会を設置し、経営統合へ向けての環境を今から整えるべきと考えますが市長の見解を伺う。

答弁

①まだ決算を見通せる時期ではなく、現段階では厳しい状況であると認識しております。②「中空知地域医療構想調整会議」

で議論されているところであり、その組織の中に自治体病院の専門部会を設け、議論を行う方法もあると考えており、その中で、更なる地域医療連携の強化や将来に向けての幅広い意見交換がなされることも一考と考えております。



新風会 新村 充 議員

空き家対策としての民泊利用について

質問

全国の空き家の数ですが、平成30年住宅・土地統計調査によると、約846万戸で過去最高を記録しました。空き家は防犯・防火・防災、景観上も問題があり、さらにアライグマなど有害鳥獣の繁殖の温床となるなど、市民に被害が及んでいます。喫緊の課題ですが、特定空き家への対策も打ちづらく、空き家バンク登録数も増えない。平成28年度の芦別市の空き家は危険度判定が高い順にAが66軒、Bが166軒、Cが521軒の合計753軒。状態の良い空き家が

521軒もある。所有者にはそもそも民泊という選択肢がない。空き家活用の一環として、民泊を啓蒙をしていく考えがあるか伺う。

答弁

空き家を民泊に活用することは空き家対策の一つになるものと考えておりますが、様々な懸念事項や市としての関わりの持ち方も難しいため、現時点で民泊を啓蒙していく考え方は持ち合わせておりません。

再質問

私が民泊を運営している東頼城町の自宅も、2017年に購入した空き家です。この家のおかげで芦別での生活を楽しめ、定住につながったと思います。この家も空き家のまま数回冬を越せば危険度B、そしてAになってしまっていたことでしょうか。民泊を運営することで空き家の管理保全につながります。管理されれば移住者に販売可能で少し定住にもつながる可能性があります。空き家を掘り起こし、民泊を運営していく地域おこし協力隊を採用するのはいかがでしょうか。すでに複数の自治体で採用実施されておりますが考えを伺う。
※インバウンド対策、高齢者の民泊運営の利点、ロケ誘致活動等についても質問しました。



政風会 樋坂 直紀 議員

質問

ブラックアウトの教訓を生かした停電対策をどの程度強化したのか伺う。

答弁

上下水道に関し、災害時に応急活動の協力及び資機材の活用に関し、芦別設備協会と協定を締結したほか、停電時に電話、ボイラー、システムサーバーなど必要最小限の業務を行えるよう現在、市総合庁舎用非常用発電機の設置をはじめ、福祉避難所である総合福祉センターへの可搬型非常用発電機の設置を進めているほか、今年度新たに小型発電機1台を購入しました。なお、市総合庁舎用非常用発電機については12月中旬に、総合福祉センターへの可搬型非常用発電機については11月中旬に設置が完了する見込みであり、また、今年度購入した小型発電機を含め、市が保有する移動可能な発電機は、非常用発電機3台、プロパンガスセットポンプを使用するLPG発電機5台の計8台となっており、今後も芦別市災害備蓄

議会の動き

令和元年8月上旬～10月下旬

【8月】

- 6日～7日 全国市議会議長会地方行政委員会（東京都）
- 13日 議会派代表者会議
- 19日 行財政改革調査特別委員会
- 〃 議会改革特別委員会
- 22日 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会（砂川市）

【9月】

- 2日 道道美唄富良野線交付金事業現場説明会（美唄市）
- 3日 議会改革特別委員会議員研修会
- 4日 社会産業常任委員会（作況調査）
- 5日 正副議長・正副議会運営委員長会議
- 〃 議会派代表者会議
- 〃 議会運営委員会
- 12日～30日 第5回市議会（定例会）
- 19日 総務常任委員会
- 20日 社会産業常任委員会
- 24日～27日 決算審査特別委員会
- 26日 議会派代表者会議
- 〃 議会運営委員会
- 27日 議会派代表者会議
- 30日 広報広聴委員会

【10月】

- 2日 北海道都市問題会議（士別市）
- 11日 北海道市議会議長会道央支部協議会（夕張市）
- 15日～18日 総務常任委員会道外行政視察（熊本県ほか）
- 16日 広報広聴委員会
- 18日 行政視察受入（富良野市議会）
- 21日 北海道市議会議長会正副会長会議・役員会（苫小牧市）
- 24日 社会産業常任委員会
- 〃 議会派代表者会議
- 〃 広報広聴委員会
- 25日 総務常任委員会学校視察（上芦別小・啓成中）
- 〃 総務常任委員会

答 弁 十分理解するところです
が、現在のバリアレス縁石の形状は、積雪寒冷地では冬期間、雪や氷

質 問 バス停留所にバスをギリギリまで寄せられるバリアレス縁石を導入する試みについて伺う。

計画に基づき、その充実を図ってまいります。
一部地域での停電時には、可能であれば市が所有する発電機を利用していただくなど、対応を取ってまいりたいと考えております。

ふるさと納税による自主財源確保について



政 風 会
林 伸樹 議員

の付着により効果が期待できないほか、除雪機械による除排雪作業で縁石を破損する可能性が高いと考えており、導入する考えは持ち合わせておりません。

市民が芦別市にふるさと納税をしていただき、自主財源を増やす取り組みを進めてはどうかと思います。

質 問 市民が芦別市にふるさと納税をしていただき、自主財源を増やす取り組みを進めてはどうかと思います。

市民が芦別市にふるさと納税をしていただき、自主財源を増やす取り組みを進めてはどうかと思います。

質 問 森林環境譲与税について、譲与割合で都市部との譲与額とは差が多過ぎる。芦別市として森林整備を活性化するため、都市部との提携など計画されているか伺う。

答 弁 今年度中に森林の経営管理に関する意向調査を行い、その結果等を踏まえつつ林業関係団体と都市部との連携等を含めた譲与税の活用方法について協議を行い、本市の林業振興に寄与する計画を取りまとめでまいりたいと考えておりますことから、現時点において具体的な計画は持ち合わせておりません。

答 弁 理論的には、市民の皆様からふるさと納税をしていただくことにより、寄附金による収入増が図られ、税控除による減収分も地方交付税により補てんされることから、現行制度上財政的なマイナス要素は生じないところです。しかしながら、居住地に対しては通常の納税を行っていただくことが基本と考えております。

9月定例会の議決結果

9月12日、令和元年第5回市議会（定例会）が招集され、会期を30日までの19日間と定めて、平成30年度各会計決算認定、令和元年度補正予算、条例制定・改正・廃止、人事案件などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
決算認定	平成30年度市立芦別病院事業会計	認定	その他	名誉市民の決定 (被選任者:伊達忠一氏、小林英一氏)	同意
	平成30年度水道事業会計	認定		表彰条例に基づく被表彰者の決定 (功労者:4名、善行者:3名)	同意
補正予算	令和元年度介護保険事業特別会計	原案可決		保健福祉施設すばる空調機器の取得	原案可決
	令和元年度後期高齢者医療特別会計	原案可決		株式会社空知川ゴルフ公社所有の 不動産に係る権利の放棄	原案可決
条例制定	特定教育・保育施設多子世帯副食 費助成条例	原案可決	報告関係	法律上市の義務に属する損害賠償 の額を定めることの専決処分	報告済
	条例改正	企業振興促進条例		原案可決	平成30年度決算に基づく健全化判 断比率
中小企業融資条例		原案可決		平成30年度決算に基づく資金不足 比率	報告済
農業担い手育成条例		原案可決		意見書	林業・木材産業の成長産業化に向 けた施策の充実・強化を求める意 見書
ふるさと就職奨励金交付条例		原案可決	加齢による難聴者の補聴器購入に 対する公的補助制度の創設を求め る意見書		原案可決
産業振興住宅確保奨励金交付条例		原案可決	生産段階からのプラごみ減量対策 を求める意見書		原案可決
防犯灯等に関する条例		原案可決	「子どもの貧困」解消など教育予 算確保・拡充と就学保障、義務教 育費国庫負担制度堅持・負担率1/2 への復元、教職員の超勤・多忙化 解消・「30人以下学級」の実現に 向けた意見書		原案可決
定住促進条例		原案可決	「これからの高校づくりに関する 指針」を抜本的に見直し、すべて の子どもにゆたかな学びを保障す る高校教育を求める意見書		原案可決
特定不妊治療費助成条例		原案可決	高齢者の安全運転支援と移動手 段の確保を求める意見書		原案可決
水道事業給水条例及び指定給水装 置工事事業者に関する条例		原案可決			
長寿祝品条例		原案可決			
住宅改修促進助成条例		原案可決			
乳幼児一時預かり事業条例		原案可決			
地域包括支援センター条例		原案可決			
印鑑の登録及び証明に関する条例		原案可決			
条例廃止	ドリームフェスタ実施事業補助金 交付条例	原案可決			
	新規学卒者等雇用奨励金交付条例	原案可決			
	遺児手当支給条例	原案可決			
人事関係	水洗便所等改造資金融資あっせん 条例	原案可決			
	固定資産評価審査委員会委員の選任 (被選任者:大西俊夫氏)	同意			
	教育委員会委員の任命 (被任命者:須藤美紀子氏)	同意			

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大鎌 光純	北村 真	樋坂 直紀	林 伸樹	石川 洋一	大橋 二郎	松井 邦男	若松 市政	小川 政憲	松尾 達矢	新村 充	田森 良隆
決算認定	平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議
	平成30年度各特別会計歳入歳出決算認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
補正予算	令和元年度一般会計（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	令和元年度国民健康保険特別会計 (第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	令和元年度一般会計（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例改正	保育所条例等	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	在宅福祉サービス条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例廃止	非常災害被災者支援金支給条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議

社会産業常任委員会所管事務（作況等）調査

9月4日、市内の農作物の生育状況などを視察する常任委員会所管事務調査を行いました。議員は議会で行う会議のほかに、所属する委員会の扱う部署の現状を知るために、現地へ赴き直接現場の声を聴く「所管事務調査」を行っております。今回は社会産業常任委員会として、野花南・上芦別・旭・本町・福住と5つの地区を廻り、本市農業の取り組みや課題、作況等を調査し、あわせて林業についての視察も行いました。始めに、野花南地区において一昨年からの、親の農業経営を引き継ぎ頑張っている岸本さんを訪ね、利用されて



いる資金制度についてや営農の状況などをお聞きしました。水稻・花き・南瓜等を受け継いだ作物のほかに、新規にアスパラ栽培に取り組みられており、若い農業者の意欲を感じました。続いてうるち米・酒米の生育状況を見るため、上芦別地区櫻田さんの水田で説明を受けました。今年は、田植え時期以降天候はおおむね順調で生育は平年並み、8月下旬の低温の影響で登熟進度が、ほ場・品種間で差が出たが、北空知の作況指数は「やや良」となる見込みであり収量も平年並みとのこと。議員からも品

質や酒米についての質問があり、委員会にとっても実りある視察となりました。次に旭の森林環境保全整備事業実施地を見学し、担当職員からの説明を受けました。その後、JA集荷場へ行き、農産物の出荷状況を確認。その際、本市を代表する農産物「馬鈴薯」の種イモを脅かす、ジャガイモシストセンチュウ対策について説明を受け、水際対策の現状を知ることができました。最後に福住地区の石川さんを訪ね、花き栽培の状況と特産品開発について、活発な質問がなされました。（大橋一朗）

12月定例市議会のお知らせ

- 会期 12月12日(木)～20日(金)
- 日程
 - 12日(木)本会議(議案の提案)
 - 16日(月)本会議(一般質問)
 - 17日(火)本会議(一般質問)
 - 18日(水)・19日(木)常任委員会
 - 20日(金)本会議(議案の議決)
- 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります

おことわり 「議会の動き」は6ページに掲載しています。

編集後記

本年4月の市議会議員選挙を終え、多くの市民の皆さまの負託を受け新たな一歩を踏み出しました。今回、議会広報広聴委員会の副委員長の任命を受けました。6月と9月の議会では一般質問をおこない、9月の議会中には平成30年度の決算審議もおこなわれました。学ぶ事の多い毎日でした。市の抱える問題を手探りで学び、現在進行中の行財政改革の必要性を考え、質問をしてきました。抱える課題のひとつに「市立芦別病院」の経営問題があります。市民の健康を守る病院として、経営を改善し存続に向けて解決しなければいけない諸課題があります。そんな矢先に厚生労働省は9月26日に公立・公的病院の再編統合を促すリストを発表し、全国424病院リストの中に市立芦別病院もありました。今後は「市立芦別病院のあり方検討委員会」や「経営アドバイザー」のご指南を受け、ひとつずつ実践推進することが大事な時と思います。（松尾）

芦別市議会広報広聴委員会

委員長 樋坂直紀

副委員長 松尾達矢

委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、

松井邦男、新村充